



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 日本ケミファ株式会社
コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3863-1211

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,015	2.9	192	82.5	549	52.3	684	28.1
2022年3月期第3四半期	24,727		1,099		1,152		952	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 852百万円 (8.7%) 2022年3月期第3四半期 933百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	189.62	
2022年3月期第3四半期	264.15	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	50,035	19,171	38.3	5,307.03
2022年3月期	49,453	18,501	37.4	5,119.99

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,154百万円 2022年3月期 18,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		50.00	50.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	0.0	300	63.7	500	51.1	550	21.5	152.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,261,420 株	2022年3月期	4,261,420 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	652,241 株	2022年3月期	651,170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,609,494 株	2022年3月期3Q	3,605,280 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動).....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示).....	8
(追加情報).....	8
(セグメント情報等).....	8
(4) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が徐々に緩和され、全国旅行支援などの各種政策の効果から個人消費を中心に景気は持ち直しの動きが続いたものの、ウクライナ情勢に伴う資源価格高騰の長期化や米国経済の減速観測などを背景とした円高への揺り戻し、年末の日銀による長期金利の変動許容幅運用変更などもあり、先行き不透明な状況が続きました。今後については円安と資源高による企業業績の悪化などが景気減速リスクとしてあげられるものの、コロナ禍で蓄積された過剰貯蓄や政府の物価高対策および賃金上昇が引き続き個人消費を下支えし、景気の緩やかな回復基調が続く見通しです。

医薬品業界においては、2023年4月に実施される2度目の薬価中間年改定について議論が進み、全収載品目の48%にあたる約9,300品目で薬価が引き下げられることとなりました。新薬創出・適応外薬解消等促進加算の対象品目や不採算に陥っている品目には一定の配慮がなされたものの、改定による薬剤費の削減額は3,100億円に上ります。

かかる環境下、当社グループにおきましては、2022年12月に消化器官用薬「エソメプラゾールカプセル『ケミファ』」など2成分3品目を発売しています。また10月にはシトレート（クエン酸塩）と植物性乳酸菌を配合したサプリメントのテスト販売を当社オンラインサイトで開始しました。

(医薬品事業)

ジェネリック医薬品については、当期新発売製品並びに近年発売した製品の売上寄与があるものの、薬価改定の影響に加え、前期より続く市場の供給不足に伴う代替需要に対応することが、他社製造委託品を含め製造余力の面から難しくなり、出荷調整を行わざるを得ない製品が継続的に生じたことから、売上高は19,253百万円（前年同期比4.1%減）となりました。主力品・新薬の売上高についても、薬価改定の影響が大きく、1,033百万円（前年同期比25.5%減）となっています。

以上の結果、ジェネリック医薬品と主力品・新薬を合わせた医療用医薬品の売上高は20,286百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

また、臨床検査薬については、アレルギースクリーニング機器・試薬「ドロップスクリーン」の国内普及が進んでいることから売上高は1,831百万円（前年同期比18.1%増）となっており、製造受託なども含めた医薬品事業全体の売上高は23,295百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は170百万円（前年同期比83.9%減）となりました。

(その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業については、売上高が719百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は21百万円（前年同期比47.1%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,015百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は192百万円（前年同期比82.5%減）、経常利益は549百万円（前年同期比52.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は684百万円（前年同期比28.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は前期末に比べて1,125百万円増加し、34,621百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加及び棚卸資産の増加によるものです。

固定資産は前期末に比べて543百万円減少し、15,414百万円となりました。これは、主に投資有価証券の売却によるものです。

この結果、総資産は前期末に比べて582百万円増加し、50,035百万円となりました。

2)負債

流動負債は前期末に比べて1,368百万円減少し、15,381百万円となりました。これは、主に電子記録債務の減少及び未払費用の減少によるものです。

固定負債は前期末に比べて1,280百万円増加し、15,482百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は前期末に比べて87百万円減少し、30,864百万円となりました。

3) 純資産

純資産合計は前期末に比べて 669 百万円増加し、19,171 百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ジェネリック医薬品市場の供給不足に 대응するため、生産関連人員新規採用など可能な限りの増産対応を行ってまいりましたが、他社への製造委託品を含め期初に見込んでいた製造数量の確保に至らず、当第3四半期において売上高の進捗に遅れが生じていることなどから、2022年5月26日に公表した通期業績予想の売上高を下記のとおり修正いたしました。

なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各利益項目につきましては、研究開発費支出の一部来期ずれ込みなど、費用発生の減少を見込んでいることや、為替動向が不透明なことなどから、予想の見直しは行っておりません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 35,000	百万円 300	百万円 500	百万円 550	円 銭 152 50
今回発表予想 (B)	32,500	300	500	550	152 38
増減額 (B-A)	△ 2,500	0	0	0	
増減率 (%)	△ 7.1	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	32,506	825	1,022	700	194 33

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,645	12,034
受取手形、売掛金及び契約資産	8,100	7,709
電子記録債権	4,544	3,823
商品及び製品	4,942	6,014
仕掛品	1,484	1,482
原材料及び貯蔵品	2,385	2,829
未収還付法人税等	-	169
その他	391	558
流動資産合計	33,495	34,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,971	4,981
機械装置及び運搬具（純額）	1,931	1,803
工具、器具及び備品（純額）	319	344
土地	4,345	4,344
リース資産（純額）	168	162
建設仮勘定	112	221
有形固定資産合計	11,848	11,858
無形固定資産		
特許権	17	13
商標権	61	56
販売権	666	454
リース資産	23	51
ソフトウェア	105	69
電話加入権	9	9
無形固定資産合計	884	654
投資その他の資産		
投資有価証券	1,810	1,357
長期前払費用	359	462
退職給付に係る資産	309	433
敷金及び保証金	68	56
繰延税金資産	329	236
その他	410	415
貸倒引当金	△61	△61
投資その他の資産合計	3,225	2,901
固定資産合計	15,957	15,414
繰延資産		
社債発行費	0	0
繰延資産合計	0	0
資産合計	49,453	50,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,146	2,322
電子記録債務	7,420	6,613
短期借入金	400	620
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	2,581	2,791
リース債務	73	77
未払金	107	95
未払法人税等	292	57
未払消費税等	200	114
未払費用	1,950	1,588
預り金	164	267
返金負債	300	243
その他	913	389
流動負債合計	16,750	15,381
固定負債		
長期借入金	11,399	12,172
リース債務	135	156
役員退職慰労引当金	469	451
退職給付に係る負債	132	141
再評価に係る繰延税金負債	915	915
その他	1,149	1,645
固定負債合計	14,202	15,482
負債合計	30,952	30,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,263	1,263
利益剰余金	13,482	13,981
自己株式	△3,110	△3,110
株主資本合計	15,939	16,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547	322
土地再評価差額金	2,070	2,072
為替換算調整勘定	△170	235
退職給付に係る調整累計額	98	85
その他の包括利益累計額合計	2,545	2,715
新株予約権	17	17
純資産合計	18,501	19,171
負債純資産合計	49,453	50,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	24,727	24,015
売上原価	17,642	17,665
売上総利益	7,085	6,349
販売費及び一般管理費	5,985	6,156
営業利益	1,099	192
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	27	30
固定資産賃貸料	4	5
持分法による投資利益	21	20
為替差益	155	398
保険配当金	2	1
その他	16	8
営業外収益合計	226	465
営業外費用		
支払利息	93	97
支払手数料	5	5
操業休止関連費用	66	-
その他	8	6
営業外費用合計	174	108
経常利益	1,152	549
特別利益		
固定資産売却益	141	10
投資有価証券売却益	-	411
特別利益合計	141	422
特別損失		
減損損失	14	-
特別損失合計	14	-
税金等調整前四半期純利益	1,279	971
法人税、住民税及び事業税	434	124
法人税等調整額	△107	162
法人税等合計	326	286
四半期純利益	952	684
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	952	684

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	952	684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	△224
為替換算調整勘定	103	406
退職給付に係る調整額	12	△13
その他の包括利益合計	△18	168
四半期包括利益	933	852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	933	852
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	医薬品事業				
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,927	697	24,625	—	24,625
その他の収益	77	25	102	—	102
外部顧客に対する売上高	24,004	722	24,727	—	24,727
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	20	30	△ 30	—
計	24,015	742	24,758	△ 30	24,727
セグメント利益	1,058	41	1,099	—	1,099

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	医薬品事業				
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,220	715	23,936	—	23,936
その他の収益	74	3	78	—	78
外部顧客に対する売上高	23,295	719	24,015	—	24,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	0	9	△ 9	—
計	23,305	719	24,024	△ 9	24,015
セグメント利益	170	21	192	—	192

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

- (4) 重要な後発事象
該当事項はありません。